

「第6回 資産運用業強化委員会」議事要旨  
平成29年4月19日(水) 15:00 ~ 16:30  
於：投資信託協会

議事内容

1. 行動憲章(案)について
2. 併合・償還に係る問題について

報告内容

1. 「中長期的資産形成等に係る検討小委員会」の検討内容について
2. 「家計の安定的な資産形成に関する有識者会議」について

配布資料

- 資料 1-2 「責任ある機関投資家」の諸原則 《日本版スチュワードシップ・コード》～投資と対話を通じて企業の持続的成長を促すために～  
(案)
- 報告 1-1 社会保障審議会 企業年金部会 確定拠出年金の運用に関する専門委員会 説明資料
- 報告 1-2 社会保障審議会 企業年金部会 「確定拠出年金の運用に関する専門委員会」におけるご検討に関する要望
- 報告 1-3 投信総合検索ライブラリーの機能強化について  
ー積立投資リターン計算機能ー
- 報告 2 家計の安定的な資産形成に関する有識者会議(第2回)概要

## 議事概要

### 議事 1. 行動憲章(案)について

事務局より、資料 1 の内容について説明が行われ、行動憲章(案)が了承された。

### 議事 2. 併合・償還に係る問題について

事務局より、説明が行われた後、討議が行われた。

主な論点は以下の通り。

- ① 併合・償還は、ファンドのガバナンスに関わる重要問題でもあり、業界として議論することは非常に有益。
- ② 「ビジネス環境の整備等に係る検討小委員会」において、実務面の問題点等の議論がなされているので、その議論の内容を、強化委員会でよく吟味してから議論していくこととしてはどうか。
- ③ 現在、「顧客本位の業務運営に関する原則」に沿って、目下各社で取り組みが検討されているところ。併合・償還を含むプロダクトガバナンスの問題について、まずは、その対応状況を見ていってはどうか。
- ④ 米国では、運用会社ではなく投資信託のボードが併合を決め、その判断基準は、
  - ・併合することが投資家の利益に沿っているかどうか。
  - ・併合による資産規模の拡大に伴う効率化は、運用体制の強化やコストの低下により投資家のためになっているかどうか。
- ⑤ 「小規模」ファンドのパフォーマンスが必ずしも悪いわけではなく、また新規参入の促進を考えると、ファンドの規模感のみを問題にすると、ダイバーシティを棄損してしまい、イノベーションが起きなくなる可能性があることにも注意すべき。

### 報告 1. 「中長期的資産形成等に係る検討小委員会」の検討内容について

「中長期的資産形成等に係る検討小委員会」委員長より、報告 1-1 及び報告 1-2 の内容について報告が行われた。

事務局より、報告 1-3 の内容について報告が行われた。

### 報告 2. 「家計の安定的な資産形成に関する有識者会議」について

事務局より、報告 2.の内容について報告が行われた。